

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 私たちは、法令等を遵守します。
- 2 私たちは、課題を共有し、組織で解決します。
- 3 私たちは、児童を守り、安心・安全な学校にします。

## 不祥事根絶のための行動計画

福山市立 新涯小 学校  
作成責任者 校長 矢田和宏

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス研修において、通知等の伝達が中心となっている。</li> <li>○職員間による注意喚起及び呼びかけが一部の教職員にとどまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。</li> <li>○教職員一人一人が自分のこととして考えるように、主体的な研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての教職員を対象にサービス研修後に振り返りシートを活用し、方法や内容等を改善する。</li> <li>○教職員で係分担をし、主体的に工夫した研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チェックリストを毎月、振り返りシートを学期に1回活用する。</li> <li>○サービス研修後の不祥事防止委員会で効果を検証する。</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ともすれば教職員個人の技量に依存しがちである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。</li> <li>○問題行動等への対応を担任だけに任すのではなく、組織として取組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年会や各委員会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。</li> <li>○問題行動の聞き取り等は、生徒指導主事を中心として必ず複数で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月に1回、不祥事防止委員会で情報交換を行い、状況を把握する。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント、いじめ相談窓口」の周知が年度当初のみであり、認知度が低い。</li> <li>○相談窓口相談できる体制が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント、いじめ相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。</li> <li>○スクールカウンセラーと面談できる日時を明記し、相談できる体制をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。</li> <li>○学期末の個人懇談において、相談窓口の案内プリントを配付するとともに、保護者から体罰、セクハラ、いじめについて聴取する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期末に児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。</li> <li>○学期末の個人懇談における保護者からの聴取記録を作成する。</li> </ul>